

わくわく子どもえんは、自然に寄り添った形でのびのびと育てたいと言うある保護者の呼びかけにより、2012年に福岡県糸島市にて3人のえん児とテントのえん舎から始まり、今年で4年目を迎えました。

現在は、海に面した場所にえん舎を借りて23名の子どもたちが毎日元気に通う大家族のような保育えんになっています。

私たちのえんは、認可園の様に自治体からの補助は無く、これまで、保護者の皆様から頂く月謝のみで運営を行ってききましたが、保護者の皆様の負担、保育士の負担、ボランティアの協力無くしては成り立っていけないというのが現状です。

わくわく子どもえんのえん庭には鉄棒もブランコもないけれど、
裏のビーチには無限に広がる砂場と水が・・・
山に入ればツタにぶら下がりターザンごっこが始まります。
野山に出て行く事は当然危険なこともたくさんあります。
だけど、自然の中でしか学べない事もたくさんあるのです。

わくわく子どもえんでは、

『暮らしの中に学びのすべてがある。喜怒哀楽のすべてがある。そして人は、それを味わい尽くせる力がある。それは特別なことじゃなく、季節を感じながら、一緒に暮らすこと。そんなふうになっていけたらいいね。子どもも、おとなも。』

という理念を掲げて、

毎日雨の日も風の日も野山や海川へ探検に出かけて行き、時には自然の恵みをいただきながら、大きい子から小さい子まで集団行動が得意な子も苦手な子もみんな一緒に育ち合います。

糸島の自然の中に飛び出して、のびのびと子どもたちが遊んで過ごせるためには、それを見守る大人の目が必要です。今まで多くの地域の方々やボランティアの方々、保護者の皆様に支えられながらやってまいりましたが、長く継続した形で続けていくためには資格を持った保育士を増やしたいというのが理想です。

保育の道を志し、どうしてもわくわくで働きたい！わくわくのようなところで育つ子どもをもっともっと増やしたい！という想いを持ってやってくる保育士たちがいるにも関わらず、現在は受け入れることが出来ていません。

保護者の皆さまから頂く月謝の値上げも行う予定です。

しかしこれ以上の負担をお願いすることは無理だと考えています。

えんに通う事さえ難しくなる子どもたちが出てきてしまう可能性があるからです。

安定した大人の目を確保できなければ、

私たちが一番守りたい子どもたちの環境を守る事さえもできなくなります。

何とか守ってきた子どもたちの成長の場を、私たちはここで終わらせたくはありません。

もっとわくわくっ子を増やすためにも、

働きたい若者がボランティアで留まらないでいられるためにも、

子どもたちの成長の場を長く継続していくために、

広くたくさんの方々にわくわく子どもえんのサポートをお願いできないでしょうか？

わくわく子どもえんの「えん」は保育園の「園」と皆様との「ご縁」を大切にしたいから

ひらがなの「えん」をつかっています。

多くの方にわくわく子どもえんの「縁」が繋がり、おおきな輪（えん）になりますように

見守って頂けたら嬉しいです。

わくわく応援隊への入会の手続きは以下の通りです。

わくわくおうえん隊入会について

*お申込みについて

申し込みはEメールにて、件名に「応えん隊申し込み」と明記のうえ、
本文中に 〒住所 氏名 電話番号 お申し込みの以下①～③の会員の種類をお知らせください。
お振込の方法や、詳しいお問い合わせにつきましては、こちらから追ってご連絡させていただきます。
隊員期間は1年間とし、更新時期が来ましたらご案内をお送りいたします。

*年会費と会員特典について

① たけのご隊 3,000円～

年1回のわくわくっ子通信をお送りいたします。

② しおかぜ隊 一口5,000円～

年1回のわくわくっ子通信

年3回のわくわく探検（親子で参加）チケット

親子で行事に参加（田植え、稲刈り、バザー、餅つき）

③ おひさま隊 一口50,000円～

年1回のわくわくっ子通信

年3回のわくわく探検（親子で参加）チケット

親子で行事に参加（田植え、稲刈り、バザー、餅つき）

わくわく子どもえん写真集

オリジナルグッズ

また、法人の方はお知らせください。希望があればバザー等のチラシに掲載が可能です。

私たちの大きな家族の一員として、わくわく子どもえんの『今を生きる子どもたち』を皆さんと一緒に育て、一緒に守ってください。よろしく願いいたします。

わくわく子どもえん一同

代表 川口 正人